

第45回 JBCF西日本トラック 大会特別規則

2011年版JCF競技規則並びに本大会特別規則の適用により競技を実施する。

1. 出走受付

召集所(地下道出入口)で出走予定時間の15分前までとする。

団体種目の出走メンバーはエントリー競技者の中から決定し、出走予定時間の30分前までに申告すること。

2. スプリント

①予選はホーム中央線からスタートとしトラック2周とする。

②予選タイム上位16名の選手により1/8決勝から開始し1回戦制とする。ただし、1/2決勝からは3回戦制で行なう。

3. タイム・トライアル

ホーム、バックの2名同時スタートで行なう。ただし、500mは1名ずつのスタートとする。

4. インディビデュアルパーシュート(個人追抜競走)

①男子・女子共にタイムレースの一発決勝とする。

②追いつきがあった場合でも両選手とも完走すること。

5. ケイリン

①抽選で1番となった競技者は、他競技者が追走しない場合ペーサーを追走する義務がある。

②ペーサーがトラックを離れる前にペーサーの後輪後端を追い抜いた競技者は失格とする。

③予選は4組。予選各組上位3名が準決勝へ。敗者復活戦は4組。敗者復活戦各組上位1名が準決勝へ。

準決勝は2組、16名。上位4名が決勝進出。

③女子は参加者が少ないため中止とする。

6. ポイント・レース

予選を実施する。(16km/40周) 16名×2組、各組上位10名が決勝進出。

決勝は30km(75周)で行なう。

①5周ごととのポイント周回とする。(ゴール周回も同様)

②ニュートラリゼーションは最大3周とする。

7. チームパーシュート(団体追抜競走)

①予選は実施せずタイムで順位を決定する。

②追いつきがあった場合でも両チームとも完走すること。

③追抜かれそうになったチームには、コミッセールが「赤旗」で合図をするので先頭交替をしてはならない。

④最初の半周中の事故は競走中止の上直ちに再スタート、最初の半周後に事故があった場合、競走は中止しない。

⑤出走する選手名を、出走予定時間の30分前までに申告すること。

8. スクラッチ・レース

予選を実施する。(6km/15周) 24名×2組、各組上位10名が決勝進出。

男子決勝は8km(20周)で行なう。

①ニュートラリゼーションは最大3周とする。

9. チーム・スプリント

①1周ごとに先頭の競技者は“退避ゾーン”(その周回が終了する15m前からその義務のある周回が終って15mまでの30m間)で離脱すること。

②予選は実施せずタイムで順位を決定する。

③出走する選手名を、出走予定時間の30分前までに申告すること。